

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長

(氏名) 山崎 幸治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0257-23-2333

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	47,189	1.6	1,096	76.8	1,001	97.0	165	—
21年3月期第2四半期	46,427	—	620	—	508	—	△420	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	8.51	—
21年3月期第2四半期	△21.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	56,218	29,137	43.2	1,252.25
21年3月期	58,874	28,600	40.7	1,234.91

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 24,292百万円 21年3月期 23,956百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,600	3.2	3,000	△15.6	3,100	△8.0	1,500	273.1	63.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,000,000株 21年3月期 20,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 600,992株 21年3月期 600,265株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 19,399,371株 21年3月期第2四半期 19,345,748株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、在庫調整の一巡や経済対策の効果により一部で景気の底入れの兆しが見られたものの、依然として企業業績の低迷、設備投資の抑制、雇用環境の悪化、節約志向の高まりによる個人消費の伸び悩みなどに加え、景気の二番底への懸念が残り、自立回復には遠い状況で推移いたしました。

菓子、飲料、食品業界は、引き続き食品に対する安全・安心への品質保証が求められる一方で、所得水準の低下や将来への不安感による購買意欲低迷の影響が続きました。

当社グループは、食品製造企業として安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供に努めてまいりました。

消費不況が続き販売価格の下落や低価格志向が強まるなか、当社は消費者ニーズに合った商品開発やリニューアルを実施するとともに、地域に密着した店頭での商品陳列と需要を喚起する細やかな営業活動に努めてまいりました。その結果、ビスケット品目、チョコレート品目、チューインガム品目などが伸張するとともに、スナック品目、デザート品目なども好評をいただきました。長雨や日照不足など夏場の天候不順による季節性商品への影響がありましたが、売上高は前年同期を若干上回りました。

また、原材料の価格動向やエネルギーコストが当初の見込みより安定的に推移したこと、販売費の効率的な使用、荷造運送費の削減、広告宣伝費の見直し、その他コスト削減活動に努めたことなどにより、営業利益、経常利益および四半期純利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は47,189百万円（対前年同期比101.6%）、利益につきましては、営業利益1,096百万円（対前年同期比176.8%）、経常利益1,001百万円（対前年同期比197.0%）、四半期純利益165百万円（前年同期 四半期純損失420百万円）となりました。

なお、当社は、平成21年10月1日をもちまして、新潟県内の製造工場である連結子会社9社を吸収合併し、新しくスタートいたしました。グループの機動的な企業集団への再構築と体制の強化および技術・知識を集結し、社会の変化に迅速に適應するスピード化と開発水準・技術水準の向上を図ってまいります。

営業品目別の概況

ビスケット類は、合計売上高が32,190百万円となり、前年同期比102.2%となりました。

ビスケット品目は、実質価値を評価いただいたロングセラー商品や既存品を中心に、袋ビスケット商品群、パッケージビスケット商品群、ファミリーサイズ商品群、スイートセレクションシリーズなどが好調に推移し、前年同期を上回りました。

豆菓子品目は、新発売の夏季向けおつまみ商品や前期発売の「チーズDeおつまみ」が好評をいただきましたが既存品が伸び悩み、前年同期を下回りました。

キャンデー品目は、サマーフルーツをテーマとした新味のキャンデーや数量限定の企画商品を新発売いたしました。前年同期を下回りました。

デザート品目は、黒蜜風味ゼリーと餡の2層仕立ての「あんみつ」を新発売し、国産果実を使用したギフト商品のリニューアルなどを行いました。健康志向0(ゼロ)kcalのカップデザートやポーションデザート、くだものいっぱいゼリーシリーズなどが継続して支持をいただき、前年同期並みの推移となりました。

米菓類は、合計売上高が12,484百万円となり、前年同期比103.3%となりました。

米菓品目は、わさび風味の夏季限定商品やかるい食感の揚げせんべい、チーズとアーモンドの洋風せんべいなどを新発売いたしました。ファミリーサイズ商品やプチシリーズ米菓商品群、チーズ柿種などは好評をいただきましたが、全体では前年同期を下回りました。

スナック品目は、人気のプチポテトシリーズに夏らしいスパイスカレー味を加えるとともに、エビスナックに、ゆずぼん酢風味とグラタン風味の新味を発売し、前年同期並みの推移となりました。

チョコレート品目は、新製品による小箱チョコレート商品群の品揃えを強化し、アルフォートミニチョコレートシリーズ、ブランチュールミニチョコレートシリーズ、クラッシュルマンドシリーズなどが大きく伸び、前年同期を上回りました。

チューインガム品目は、3種のアソートガム「アソート3」の品揃え充実を図りました。花粉症対応のスーパーはなのどガムボトルやチャネル限定商品なども好評をいただき、前年同期を上回りました。

飲料・食品・その他は、合計売上高が2,513百万円となり、前年同期比88.9%となりました。

飲料品目は、健康果実ボイセンベリーを用いた「酢てきスタイル125ml」「ボイセンベリースパークリングゼロPET500」の展開、砂糖ゼロのココア飲料を新発売いたしました。ミネラルウォーター商品群は高品質に評価をいただいたものの、長雨や日照不足などの夏場の天候不順の影響があり、前年同期を下回りました。

食品品目は、家庭内消費の拡大などによりお徳用サイズの「310g まろやか仕立てミルクココア」「300g ほんのりピターなココア」などが好調に推移いたしました。全体では前年同期を下回りました。

その他品目では、通信販売は新規顧客の開拓や取扱商品の拡大、催事企画などに取り組み、堅調に推移いたしました。また、自動販売機は、多様な商品を総合的に取り扱うプチモールのサービス地域拡大や設置台数の増加、きめ細かいフォローの充実などにより、前年同期を大きく上回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、56,218百万円となり、前連結会計年度末比2,655百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。負債は、27,080百万円となり、前連結会計年度末比3,192百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による支払手形及び買掛金が減少したことと、借入金の返済および法人税等の支払があったことによるものです。純資産は、29,137百万円となり、前連結会計年度末比536百万円増加し、自己資本比率は43.2%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,676百万円の収入（前年同期1,498百万円の収入、対前年同期比111.9%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益905百万円および減価償却費1,652百万円があったことと法人税等の支払額1,031百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,574百万円の支出（前年同期2,604百万円の支出、対前年同期比60.4%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,402百万円の支出（前年同期1,045百万円の支出、対前年同期比134.1%）となりました。これは主に、借入金の返済による支出があったことによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前年同期末に比べ1,633百万円増加し、4,903百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ1,302百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年6月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,895	6,199
受取手形及び売掛金	9,672	11,777
有価証券	8	6
商品及び製品	4,235	4,011
仕掛品	501	457
原材料及び貯蔵品	2,671	3,006
その他	2,467	2,352
貸倒引当金	△149	△138
流動資産合計	24,301	27,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,448	8,470
機械装置及び運搬具（純額）	8,891	9,309
その他（純額）	7,370	6,468
有形固定資産合計	24,711	24,248
無形固定資産		
のれん	46	62
その他	587	626
無形固定資産合計	633	688
投資その他の資産		
その他	6,622	6,294
貸倒引当金	△50	△31
投資その他の資産合計	6,571	6,262
固定資産合計	31,916	31,200
資産合計	56,218	58,874

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,235	9,984
短期借入金	2,097	3,105
未払法人税等	805	1,048
賞与引当金	1,036	837
返品引当金	95	94
その他	6,278	6,609
流動負債合計	18,548	21,681
固定負債		
長期借入金	1,707	1,939
退職給付引当金	5,521	5,461
役員退職慰労引当金	162	191
その他	1,141	999
固定負債合計	8,532	8,592
負債合計	27,080	30,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	92	92
利益剰余金	23,527	23,458
自己株式	△172	△172
株主資本合計	24,483	24,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△89	△297
為替換算調整勘定	△101	△161
評価・換算差額等合計	△191	△459
少数株主持分	4,844	4,643
純資産合計	29,137	28,600
負債純資産合計	56,218	58,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	46,427	47,189
売上原価	28,159	27,943
売上総利益	18,268	19,245
販売費及び一般管理費	17,648	18,149
営業利益	620	1,096
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	27	32
その他	82	63
営業外収益合計	138	112
営業外費用		
支払利息	33	28
持分法による投資損失	59	—
為替差損	—	114
開業費償却	111	—
減価償却費	—	43
その他	45	20
営業外費用合計	250	207
経常利益	508	1,001
特別利益		
投資有価証券売却益	121	—
貸倒引当金戻入額	32	—
特別利益合計	153	—
特別損失		
固定資産処分損	38	40
減損損失	14	9
投資有価証券評価損	885	45
その他	0	—
特別損失合計	939	95
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△277	905
法人税、住民税及び事業税	267	785
法人税等調整額	△382	△245
法人税等合計	△114	540
少数株主利益	258	200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△420	165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△277	905
減価償却費	1,509	1,652
のれん償却額	15	15
受取利息及び受取配当金	△56	△48
支払利息	33	28
持分法による投資損益(△は益)	59	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△121	—
固定資産処分損益(△は益)	38	40
減損損失	14	9
投資有価証券評価損益(△は益)	885	45
売上債権の増減額(△は増加)	2,025	2,112
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,293	74
仕入債務の増減額(△は減少)	△38	△1,761
賞与引当金の増減額(△は減少)	148	198
その他	△768	△587
小計	2,176	2,686
利息及び配当金の受取額	55	50
利息の支払額	△33	△28
法人税等の支払額	△699	△1,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,498	1,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,374	△1,584
投資有価証券の取得による支出	△196	△4
投資有価証券の売却による収入	141	—
その他	△175	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,604	△1,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
長期借入金の返済による支出	△332	△240
配当金の支払額	△92	△97
自己株式の売却による収入	381	—
その他	△1	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△1,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,158	△1,302
現金及び現金同等物の期首残高	5,428	6,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,269	4,903

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）において、当社グループは食品製造会社として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類、飲料食品等の製造、販売を行なっております。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）における海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

事業の区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	構成比 (%)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	構成比 (%)
ビスケット類 (百万円)	31,509	67.9	32,190	68.2
米菓類 (百万円)	12,090	26.0	12,484	26.5
飲料・食品・その他 (百万円)	2,827	6.1	2,513	5.3
合計 (百万円)	46,427	100.0	47,189	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。